

羽曳野市の財政状況 〈平成30年度決算〉

羽曳野市総務部財政課

羽曳野市の財政の状況を、つぶたんと一緒に見ていきましょう！



～ 目 次 ～



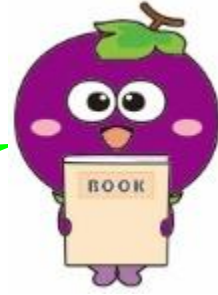
Q1.	そもそも財政ってナニ？	1
Q2.	羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？	2
Q3.	一般会計の決算の概要を教えて！	4
Q4.	平成30年度の歳入の特徴を教えて！	6
Q5.	平成30年度の歳出の特徴を教えて！	8
Q6.	平成30年度に行った主なお仕事を教えて！	11
Q7.	羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？	12
Q8.	羽曳野市にはどれくらい借金があるの？	13
Q9.	羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？	14
Q10.	これからの羽曳野市に必要なことはナニ？	17
Q11.	僕たち、私たちにできることは？	18



よろしくね！

羽曳野市の財政状況をできるだけ
わかりやすく説明するね。





Q1. そもそも「財政」ってナニ？



市役所では、市民の皆さんから税金をいただき、子育て、福祉、教育など、市民の皆さんの生活にかかわる色々な仕事をしています。
市役所では、そういった仕事を効率的に行うために、様々な「お金のやりくり」をしています。
つぶたんもお小遣いをもらったら、それをどうやって使うかを考えるよね。
市役所では、その「お金のやりくり」のことを「財政」って呼んでいます。

《もう少し詳しく》

予算とは？

市役所では、市民にかかわる色々な仕事をしています。しかし、市役所に入ってくる収入には限りがありますので、その収入の見込みの範囲内で、やらなければならないことの優先順位をつけ、仕事をしています。

この収入と支出の見積りるのことを「**予算**」と呼んでいます。市役所では、毎年度「予算」を作成し、これに基づいて様々な仕事をしています。

また、異なる仕事ごとにお財布（=会計）を分けて、その仕事ごとの予算を作成する場合があります。

決算とは？

市役所では、市民の皆さんから税金などを集め、様々な市民サービス等を行っています。そして、それらの収入がいくら集まり、市民サービス等にいくら使われたのかを、毎年度取りまとめしています。

この収入と支出の取りまとめ結果のことを「**決算**」と呼んでいます。決算では、市役所がその年度にお金をどう使ったか確認できます。また、決算の数値を用いて市役所の財政状況がどうなっているかをチェックすることができます。

「決算」は、言わばその年度の市役所の成績表です。

Q 2. 羽曳野市のお財布にはどんなものがあるの？



市役所のお財布には、大きく分けて「一般会計」、「特別会計」、「公営企業会計」の3つの種類があります。

《もう少し詳しく》

一般会計

H30年度にかかったお金
390億6,600万円

市の基本的なお仕事（福祉、教育、ごみ処理、保健、道路など）をするためのお財布。皆さんからいただく税金などが主な財源。

特別会計

H30年度にかかったお金
254億3,700万円

国民健康保険など、特定の目的の為のお財布。保険料等の収入により医療費等の支出をまかなう。一般会計と分けることで経理を明確にしている。

公営企業会計

H30年度にかかったお金
50億4,400万円

水道、下水道など民間企業に似たお仕事を行うためのお財布。料金等の収益により費用をまかなう。一般会計と分けることで経理を明確にしている。

平成30年度では
市役所全体で

約695億4,700万円

のお金がかかりました。



次のページで、それぞれのお財布の収支を見てみましょう。

羽曳野市のお財布ごとの収支（平成30年度決算）

収支（収入－支出）がマイナスになることを「赤字」と言うよ。

種類	お財布の名前 (会計名)	収入 (収益)	支出 (費用)		収支	説明
			一般会計 繰入金	繰入金		
一般	一般会計	391.3億円	-	390.7億円	0.6億円	市役所の基本的なお仕事をするためのお財布
特別	国民健康保険特別会計	128.5億円	12.6億円	127.6億円	0.9億円	自営業者の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	介護保険特別会計	105.0億円	15.3億円	102.1億円	2.9億円	高齢者の方が介護が必要になったときに受けるサービス等の費用を負担するためのお財布
	後期高齢者医療特別会計	17.1億円	3.4億円	16.6億円	0.6億円	75歳以上の方などが病気やけがをしたときの医療費を負担するためのお財布
	財産区特別会計	16.9億円	0.0億円	0.5億円	16.4億円	昔から地域の皆さんで使っていた、ため池や山林などを維持管理するためのお財布
	土地取得特別会計	7.6億円	1.9億円	7.6億円	-	道路などの工事をするために必要な土地を購入するためのお財布
公営企業	と畜場特別会計	0.6億円	0.6億円	0.6億円	-	皆さんが食べる牛肉等を加工するための施設の維持管理を行うためのお財布
	水道事業会計	25.3億円	0.0億円	19.8億円	5.4億円	皆さんが使う水を供給する水道施設の維持管理を行うためのお財布
	下水道事業会計	32.9億円	9.9億円	30.0億円	3.0億円	皆さんが使用した水を処理場に送り、適切に処理するためのお財布

※四捨五入の関係で「収入－支出」と「収支」が一致しない場合があります。

一般会計繰入金是一般会計が負担すべきお金のほか、他の会計が赤字になりそうなときに一般会計から仕送るお金のことだよ。

どのお財布も収支に赤字が無くて安心。でも、一般会計繰入金がなかったら赤字になるお財布もあるみたい。もし一般会計が赤字になったら、大変だね。





Q 3. 一般会計の決算の概要を教えてください！

平成30年度一般会計決算の概要

- ・歳入（収入）：391億3,000万円（前年度比▲1億円）
- ・歳出（支出）：390億6,600万円（前年度比▲1億400万円）

⇒形式収支（歳入－歳出）：6,400万円

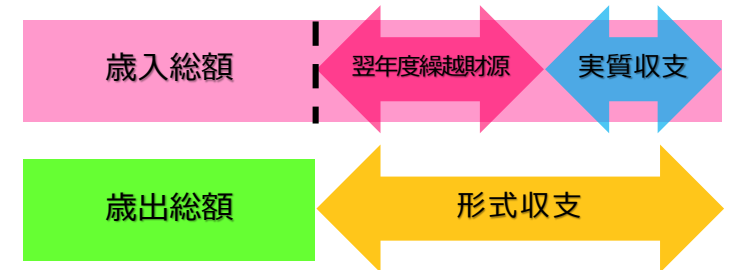
このうち翌年度に繰り越す仕事（平成30年度に終わらなかった仕事）に使うための予算「700万円」を差し引いた金額が、

⇒実質収支（形式収支－翌年度繰越財源）：5,700万円

ただし、財源不足を補うため、財政調整基金（市役所の貯金）から取り崩しを行った。（平成30年度取り崩し額：1億円）

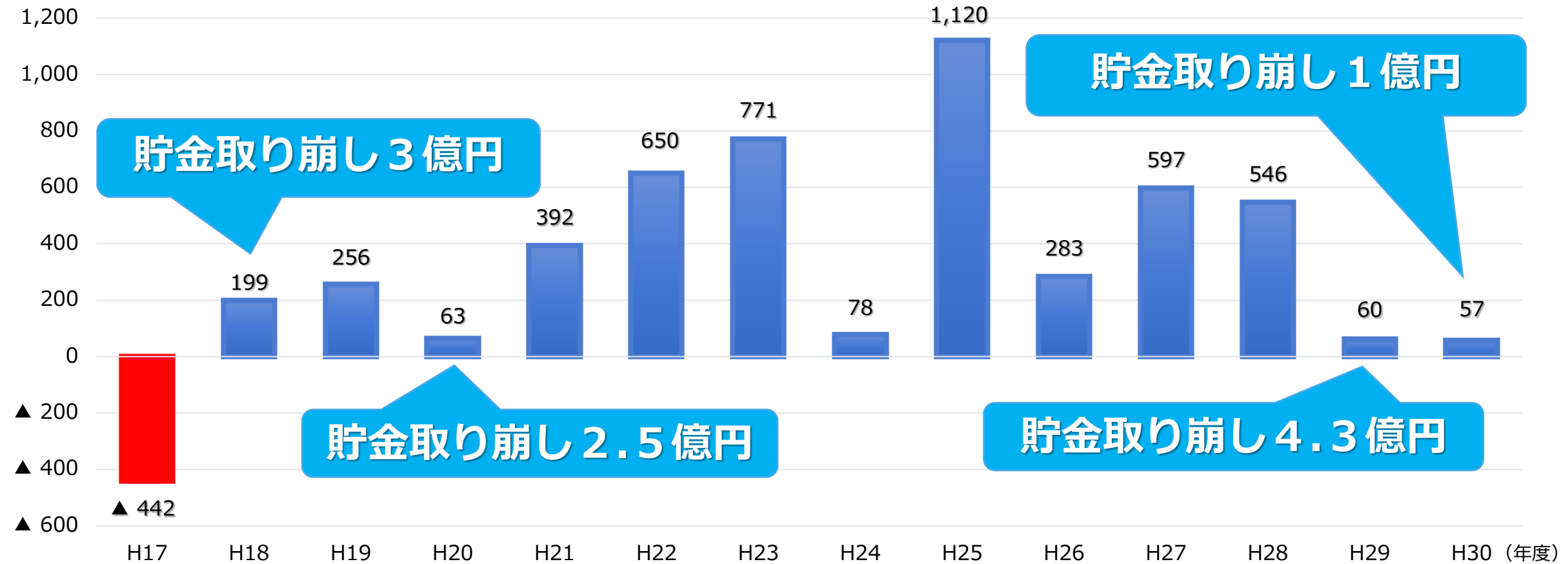
だから、黒字は黒字でも貯金を崩さなければ、赤字だった!?

★実質収支のイメージ図(収支が黒字の場合)



次のページでは、これまでの一般会計の収支の推移を見てみよう。

一般会計の実質収支の推移



一般会計の収支は年によってすごくデコボコがあるね。黒字のときはしっかり貯金をしなきゃだね。

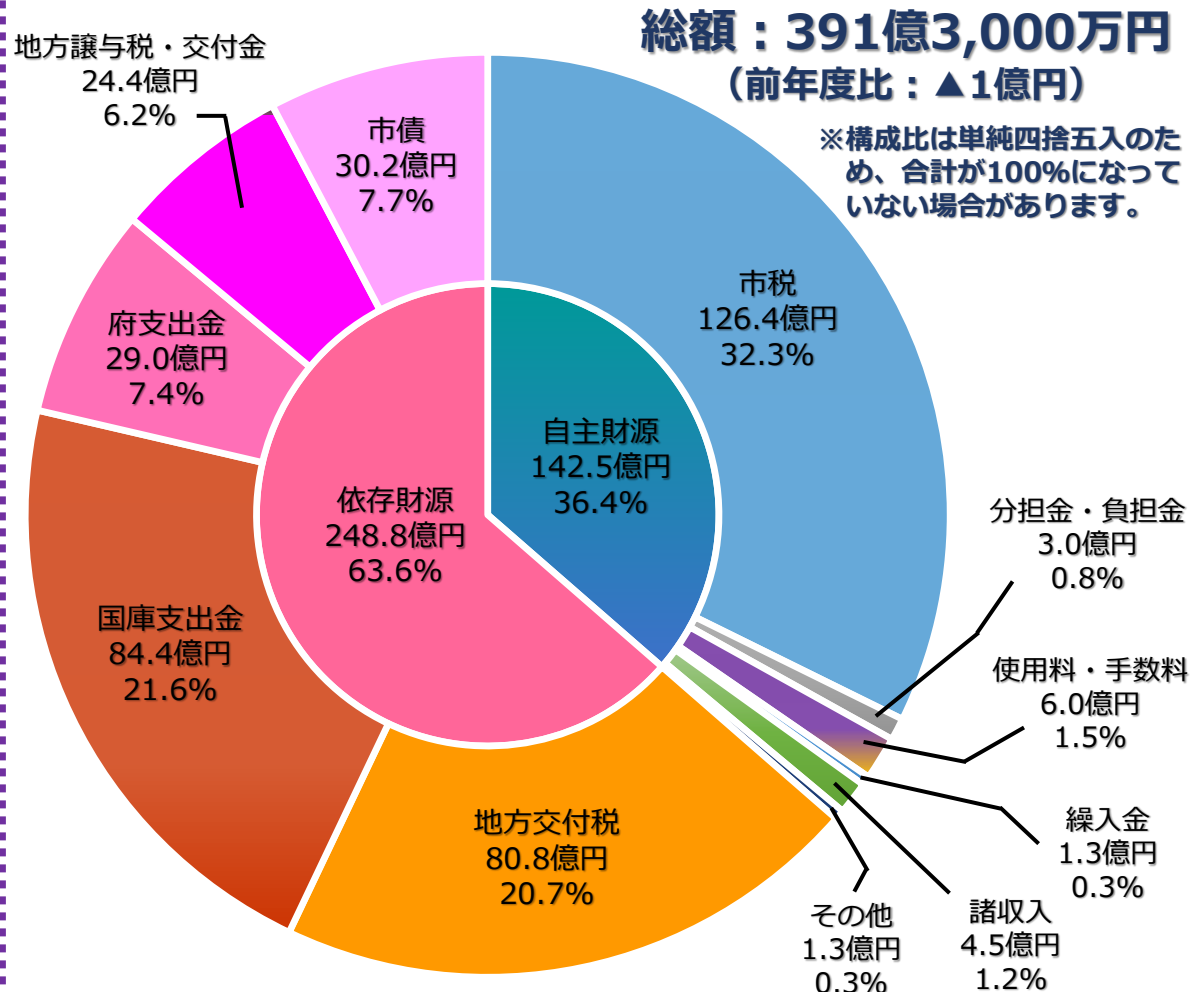


羽曳野市の収支にデコボコがあるのは、市の総収入の中で、国や大阪府からもらえるお金の割合が高いため、年によってもらえるお金が多かったり少なかったりして、収入が安定しないことが理由として考えられます。



Q 4. 平成30年度の歳入の特徴を教えてください！

一般会計歳入内訳 (平成30年度決算)



平成30年度歳入決算の特徴

- ・平成30年度の歳入総額は、391億3,000万円となり、前年度と比較すると、1億円の減少となった。
- ・これは、建設工事の増加に伴う市債（借金）の増加や、地方交付税（国からの仕送り）の増加などあったものの、前年度からの繰越金や、財政調整基金（市役所の貯金）からの取り崩し額が減少したことなどによる。
- ・その他、市税収入が前年度よりも増加し、自主財源の比率が多少改善したが、それでもまだまだ非常に低い。



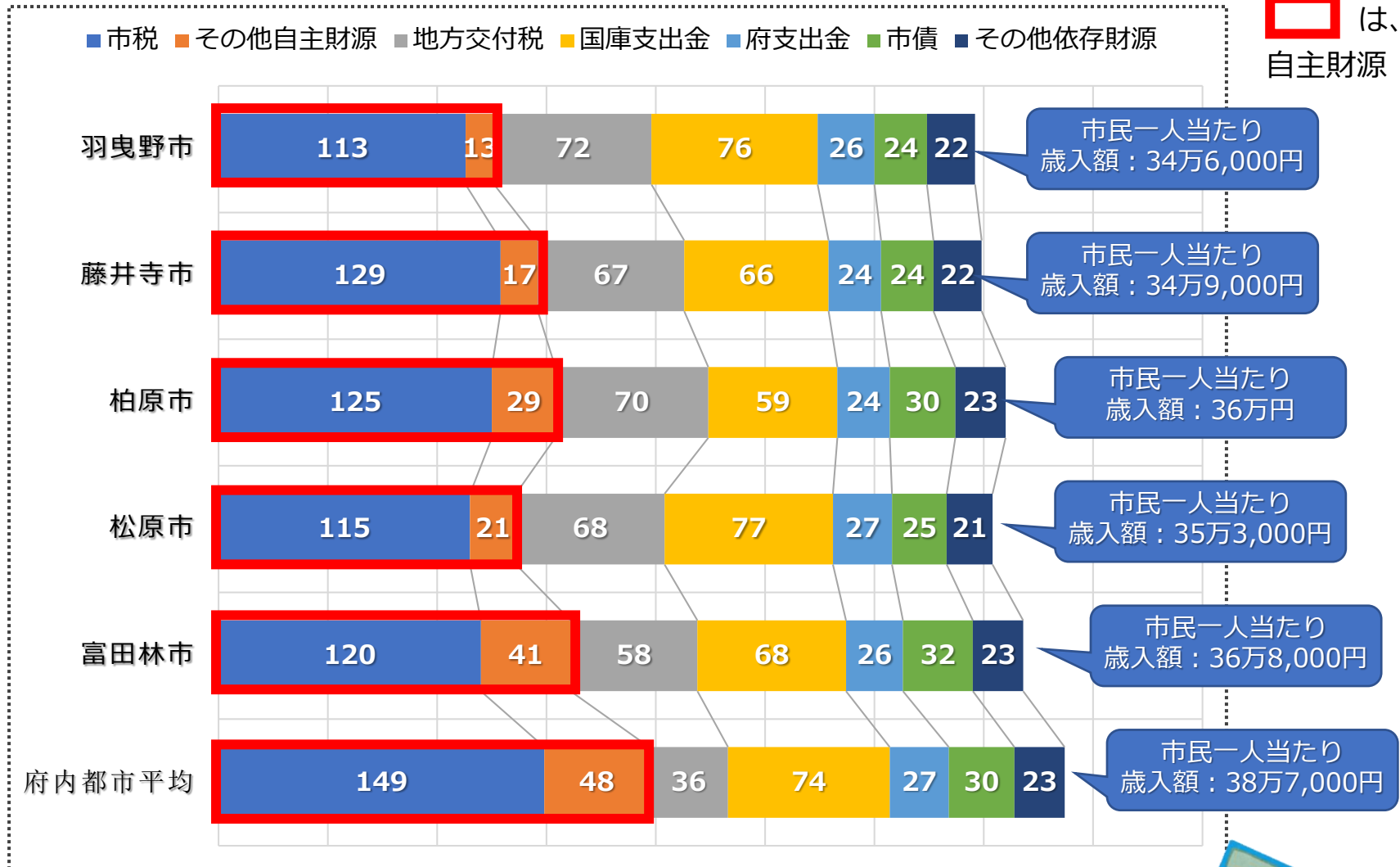
「自主財源」は市役所が自主的に集められるお金。
「依存財源」は国や大阪府からもらうお金などで、自主的には集められないもの。
「自主財源」が多いほど、自主的で安定的な仕事ができる。だから、「自主財源」をもっと増やせるようにしないとね。

市民一人当たりの歳入 隣接市・府内都市平均との比較について

市民一人当たり歳入比較表（平成30年度決算・普通会計* / 政令市除く）

単位：千円

 は、
自主財源



普通会計とは？

「普通会計」とは、市町村ごとに会計の範囲や状況が異なることから、他の市町村との財政比較を行いやすくするため、一般会計とそれに近い性質の特別会計とを足し合わせるほか、各会計で重複するお金や、借金の借換に関する収入等を差し引いて算出します。羽曳野市では、「一般会計」と「土地取得特別会計」を合わせたものを「普通会計」としています。

羽曳野市は自主財源が少なく、周りの市よりも市民一人当たりの歳入額も低いみたい。どうしたら歳入が増えるのか、みんなで考えてみよう！

市民一人当たりの自主財源の額

府内都市平均：19.6万円
羽曳野市：12.6万円
(31市中31位)

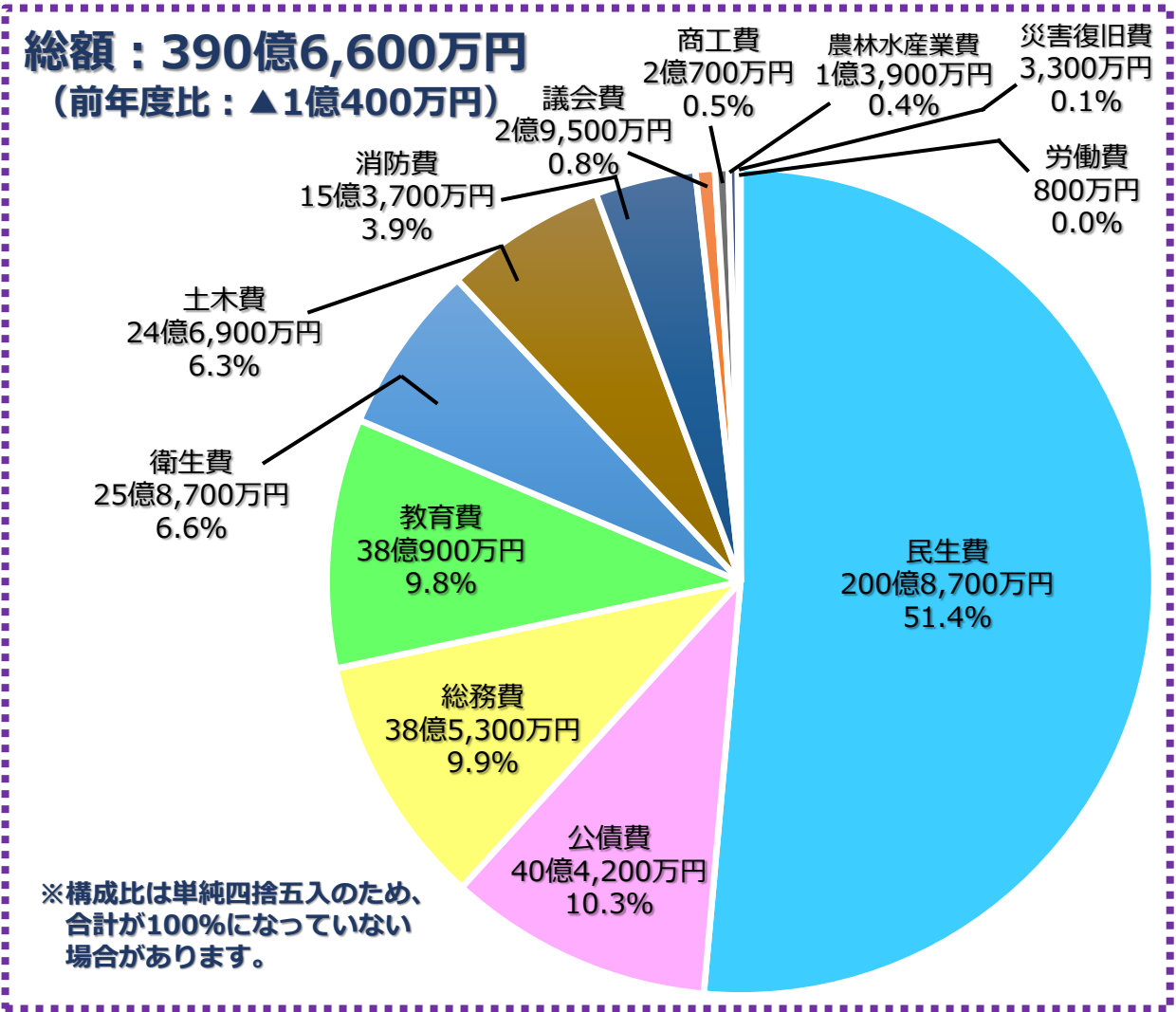


※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。
※府内都市平均は政令市を除く府内の31市の加重平均です。



Q 5. 平成30年度の歳出の特徴を教えてください！

一般会計歳出（目的別）内訳（平成30年度決算）



歳出決算には、歳出を行政目的別に区分した「**目的別**」と、性質別に区分した「**性質別**」の2つの見方があります。
 家族の買い物の例で例えると、次のようになります。
 (例) 子どものために洋服を買う
 ⇒ ① 目的別：子どものために（民生費に計上）
 ② 性質別：洋服を買う（物件費（次ページ参照）に計上）

平成30年度歳出決算（目的別）の特徴

- ・平成30年度の歳出総額は、390億6,600万円となり、前年度と比較すると、1億400万円の減少となった。
- ・増加要因としては、小学校エアコン設置や遺跡の買収等により教育費が増加したほか、防災行政無線デジタル化工事等により消防費が増加した。
- ・一方、減少要因は、臨時福祉給付金が終了したこと等により民生費が減少し、また、近年新たな借金を減らしていることに伴い公債費が減少した。



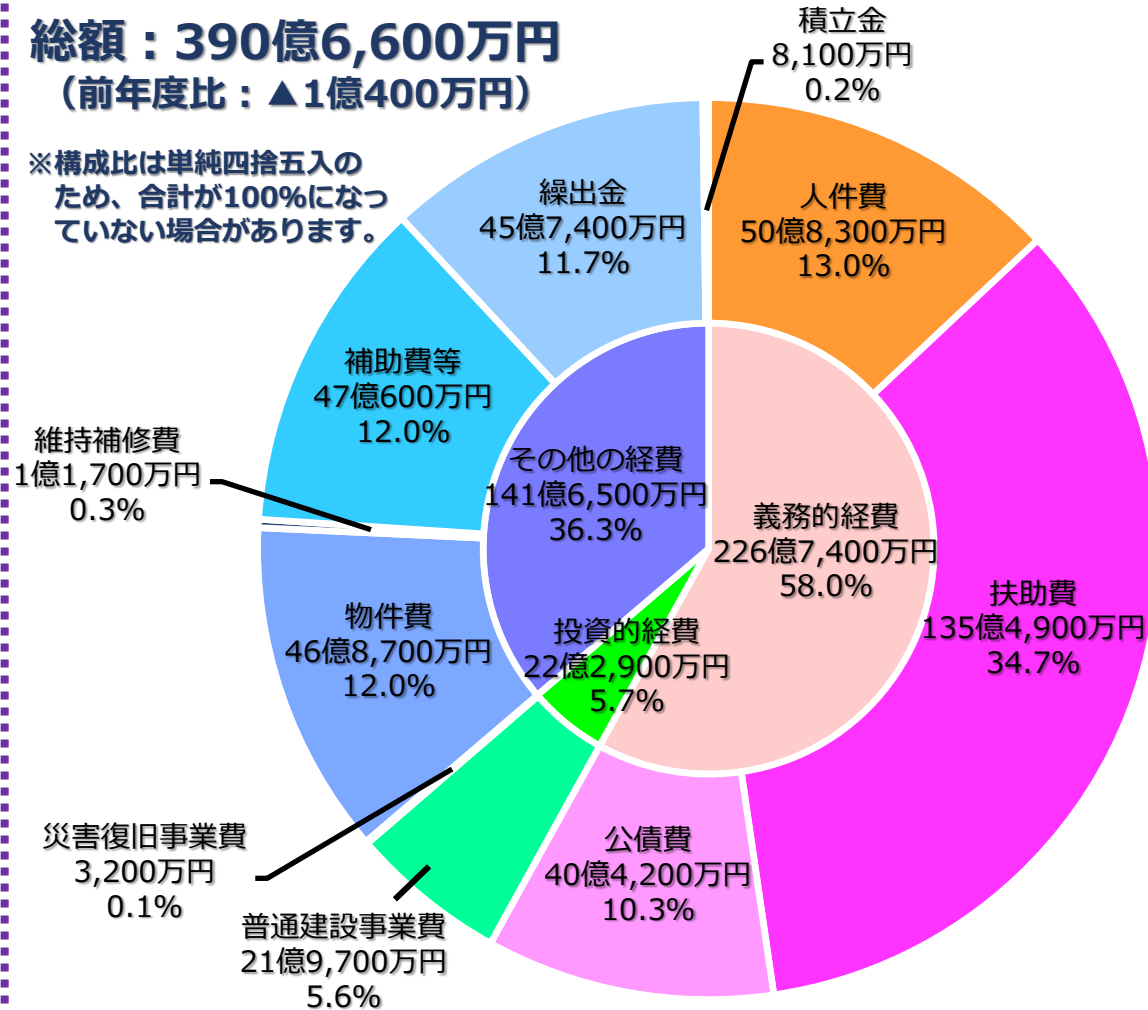
目的別費目の概要（主なもの）は、次のとおりだよ。

- ・民生費：福祉や子育てなど
- ・公債費：市役所の借金返済金
- ・総務費：まちづくりや戸籍など
- ・教育費：学校やスポーツなど
- ・衛生費：健康やごみ処理など
- ・土木費：道路や公園など
- ・消防費：消防や防災など
- ・商工費：観光や商業など

一般会計歳出（性質別）内訳（平成30年度決算）

総額：390億6,600万円
（前年度比：▲1億400万円）

※構成比は単純四捨五入のため、合計が100%になっていない場合があります。



平成30年度歳出決算（性質別）の特徴

- ・平成30年度の増加要因としては、小学校エアコン設置や遺跡の買収、地方創生関連事業（羽曳野版DMO設立等）などの実施により普通建設事業費が増加したほか、退職手当の増などにより人件費が増加した。
- ・一方、減少要因としては、臨時福祉給付金が終了したこと等により扶助費が減少したほか、近年新たな借金を減らしていることに伴い公債費が減少した。
- ・この結果、歳出全体では前年度より1億400万円の減少となった。ただし、義務的経費の割合が依然として高く、財政の硬直化の改善には至っていない。

性質別費目の概要は、次のとおりだよ。

- ・人件費：職員の給料、退職手当などに係る経費
- ・扶助費：児童、高齢者、障害者に対する支援に係る経費
- ・公債費：市役所の借金の返済に係る経費
- ・普通建設事業費：道路、学校などの施設の建設に係る経費
- ・災害復旧事業費：災害で被害を受けた施設の復旧に係る経費
- ・物件費：施設管理等の委託料や消耗品、備品等に係る経費
- ・維持補修費：施設の維持補修に係る経費
- ・補助費等：一部事務組合や公営企業等に対する補助に係る経費
- ・繰出金：国保、介護などの特別会計への仕送りに係る経費
- ・積立金：基金（市役所の貯金）への積み立てに係る経費

性質別経費は、大きく分けて「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の3つに分けられます。

このうち、制度的に支出が義務付けられている「義務的経費」の割合が高いほど、財政の柔軟性を欠き、財政健全化が図られにくいとされています。

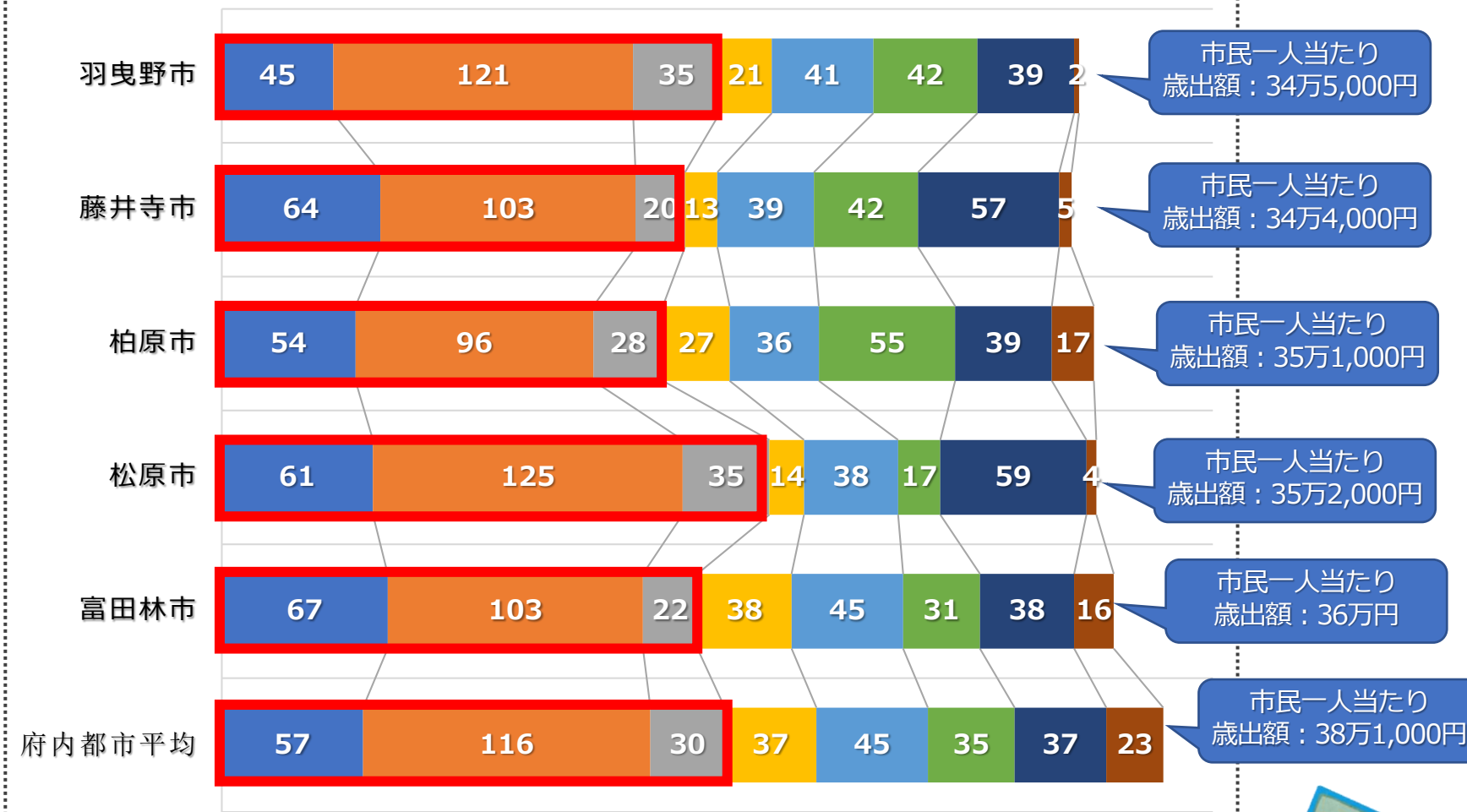


市民一人当たりの歳出（性質別） 隣接市・府内都市平均との比較について

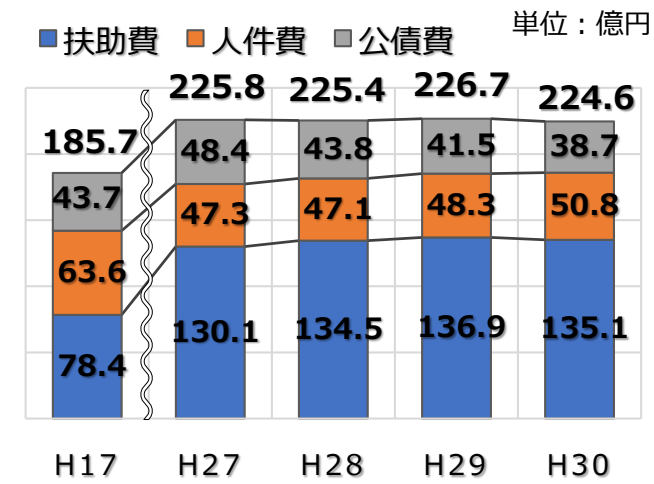
市民一人当たり歳出比較表（平成30年度決算・普通会計／政令市除く）

単位：千円 は、義務的経費

■人件費 ■扶助費 ■公債費 ■普通建設事業費等 ■物件費 ■補助費等 ■繰出金 ■その他



羽曳野市／義務的経費の推移（普通会計）



羽曳野市は隣接市よりも義務的経費の割合が高く、その中でも「扶助費」の割合が高いね。最近では「人件費」が増加し、「公債費」が減少してるみたい。どうすれば少しでも義務的経費を抑えることができるかな～？

歳出総額に占める義務的経費の割合（普通会計）
 府内都市平均：53.4%
 羽曳野市：58.1%
 （31市中9位）
 （この割合が高いほど財政健全化がしにくい）



※端数処理の関係で合計等と一致しない場合があります。
 ※府内都市平均は政令市を除く府内の31市の加重平均です。





Q 6. 平成30年度に行った主なお仕事を教えて！



平成30年度に行った代表的な仕事を紹介します。

DMOとは？

古墳や街道などの歴史的な観光資源を活用し、地域の人達と一緒に観光によるまちづくりを行う団体のことです。



<案内看板の多言語化>

●百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録に向けた取組み【5,026万円】

- ・観光バスの乗降り場の設置
- ・多言語化案内看板の設置
- ・世界文化遺産登録に向けた機運醸成のための基金の設置
- ・史跡峯ヶ塚古墳の復元整備調査 など



<浅野家住宅（旧オキナ酒造）>

●歴史的建造物を活用した観光施設整備・羽曳野版DMO設立推進事業【2億2,164万円】

- ・日本遺産に認定された竹内街道沿いに位置する浅野家住宅（旧オキナ酒造）の取得、改修の着手
- ・羽曳野版DMO*設立に向けた調査 など

●市制施行60周年記念事業【2,243万円】

- ・記念式典の開催
- ・60周年記念動画の制作
- ・ワイン列車などワインプロジェクトの実施
- ・絵画コンテストの実施
- ・写真コンテストの実施 など



<ワイン列車>

●小中学校エアコン設置工事【5億3,222万円】(H29繰越分含む)

- ・小中学校の普通教室へのエアコン設置に係る工事 など
- 小中学校体育館改修工事【1億725万円】(H29繰越分含む)
- ・小中学校体育館の非構造部材（照明等）の耐震化工事 など



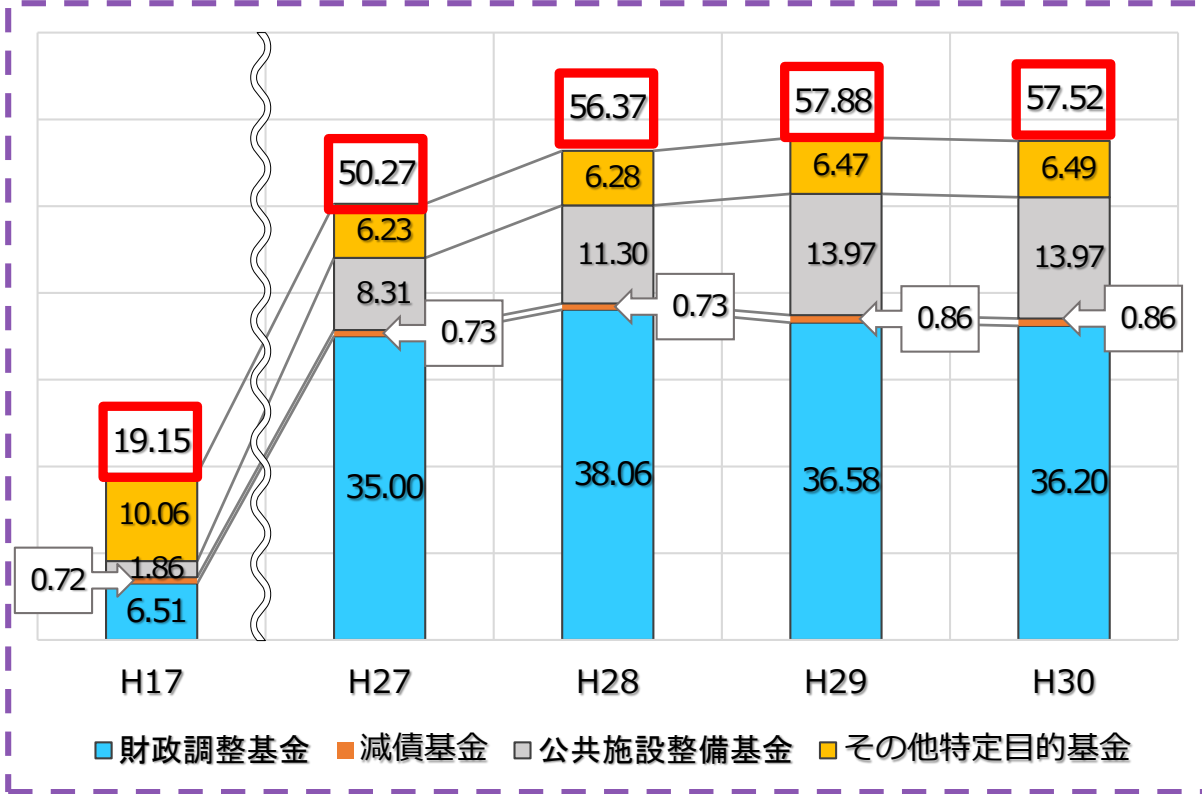
<小中学校エアコン設置工事>



Q7. 羽曳野市にはどれくらい貯金があるの？

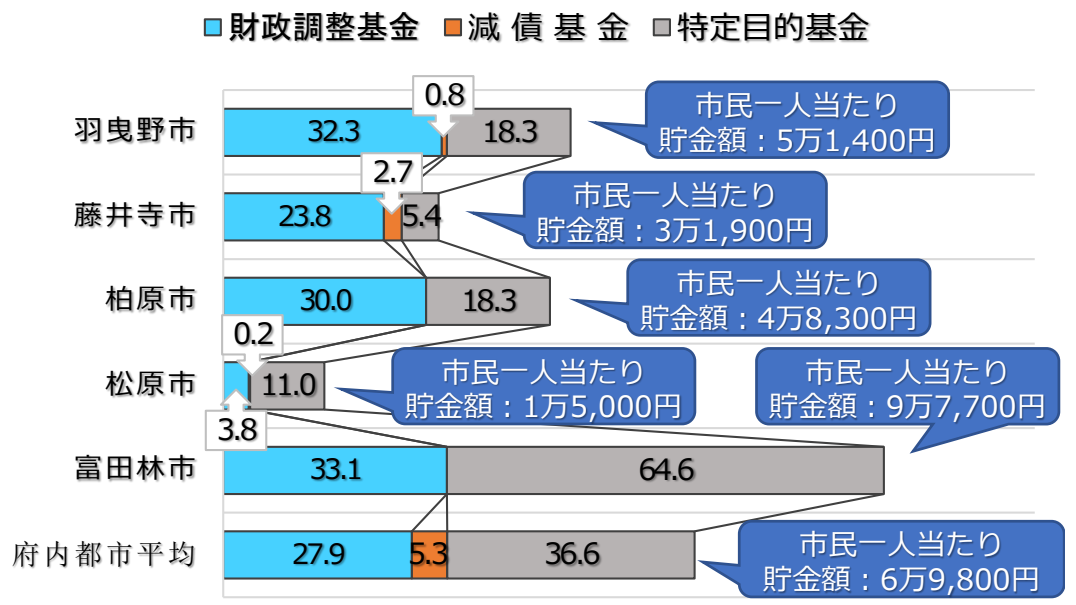
基金（貯金）残高の推移

単位：億円



- 基金総額** は、
- 財政調整基金：年度間の収支のデコボコを調整するための貯金
 - 減債基金：市債の返済に備えて積み立てる貯金
 - 公共施設整備基金：公共施設の整備や改修に充てるための貯金
 - その他特定目的基金：福祉、教育、まちづくりなど、特定の目的のために積み立てられる貯金

(参考) 市民一人当たりの基金残高 隣接市・府内都市平均との比較表
(平成30年度決算 / 政令市除く) 単位：千円



※この表上は「公共施設整備基金」は「特定目的基金」の中に含まれています。

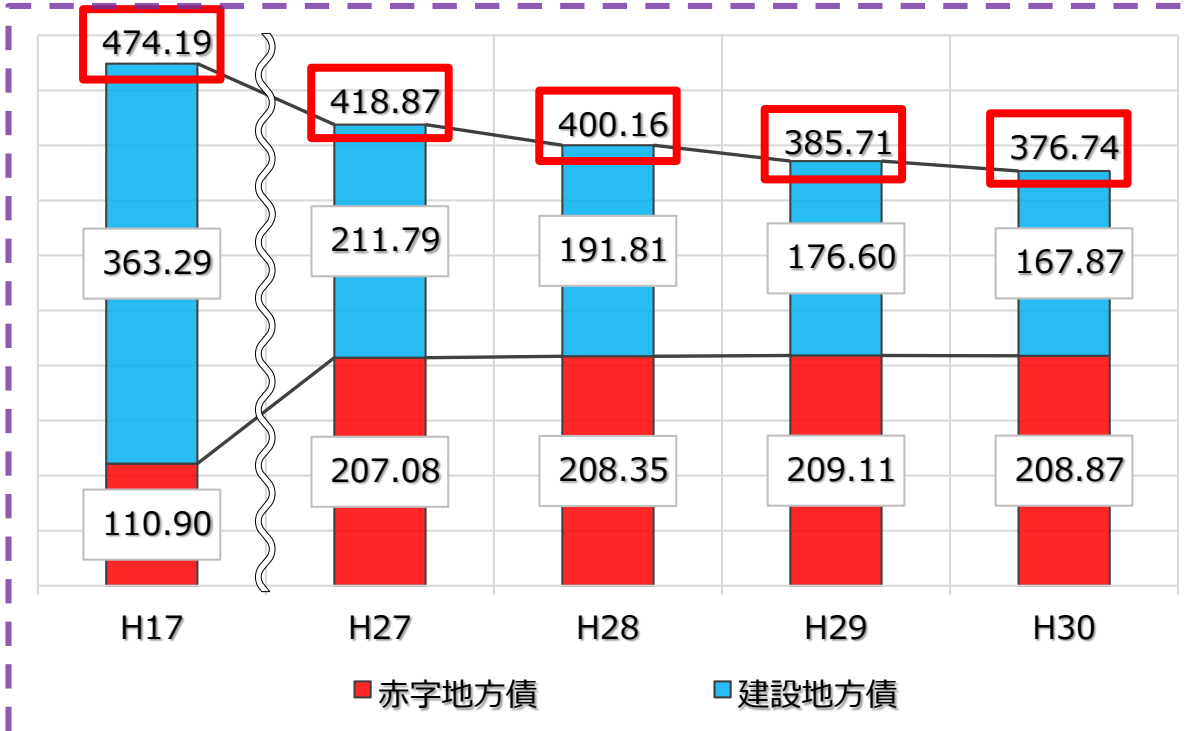


基金（貯金）残高は、財政健全化計画の着実な実行等に伴い、平成17年度に比べると一定の積み立てができていますね。でも、これからも少子高齢化等に伴う扶助費の増加などが見込まれているから、黒字が出たときには確実に貯金をするとともに、今後も基金（貯金）を取り崩さない財政運営が必要だね。

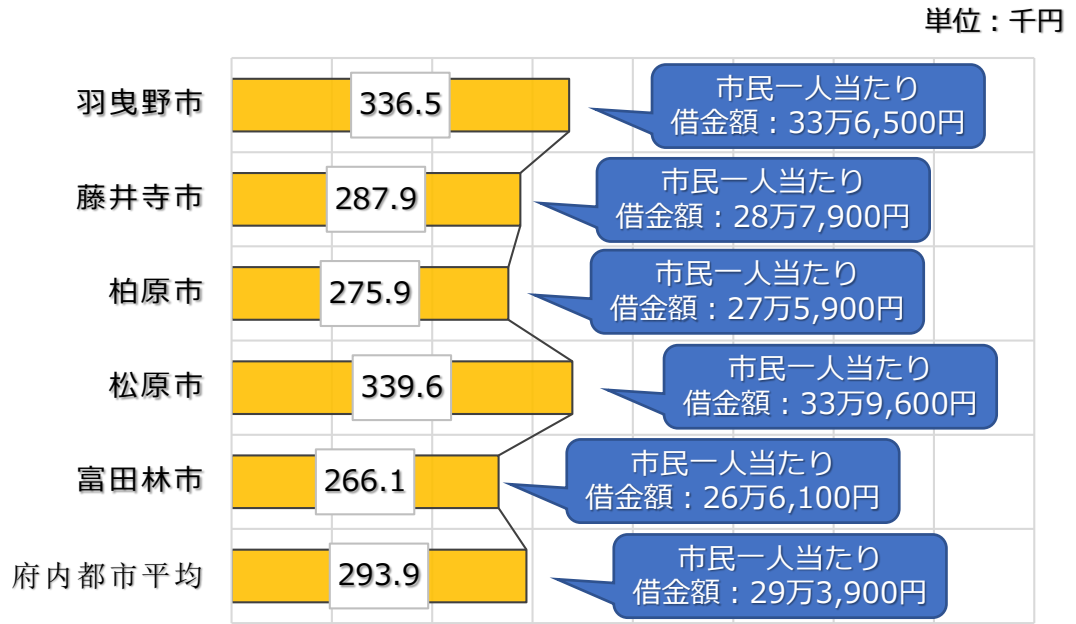


Q 8. 羽曳野市にはどれくらい借金があるの？

市債（借金）【普通会計】残高の推移 単位：億円



(参考) 市民一人当たりの市債残高 隣接市・府内都市平均との比較表 (平成30年度決算 / 政令市除く) 単位：千円



※この表上は、赤字地方債、建設地方債を含む市民一人当たりの金額を表しています。

は、借入金総額



- 赤字地方債：臨時財政対策債*、退職手当債等をいう。
 - 建設地方債：道路や公共施設を建設するために借りる借金。市債を借り、その施設の耐用年数の期間に渡って借金返却をすることで、その施設を使用する人たちの世代間の公平性を確保する。
- ※臨時財政対策債：国が地方に支払うべき地方交付税の財源が不足しているため、地方自治体に交付税の代わりに発行させる赤字地方債。後年度その元利償還金の全額に相当する額が地方交付税としてもらえる。



市債（借金）残高は、その年の新規借入額を原則その年の元金償還額以下とするような運用をしているため、特に建設地方債は着実に減少しているね。だけど、他市に比べるとまだまだ高い水準だね。一方、国の財源不足による臨財債の残高は増加傾向にあり、1,000兆円を超える国の借金残高のことを考えると、市の自主財源を多くして、少しでも臨財債の借入額を減らす努力が必要だね。

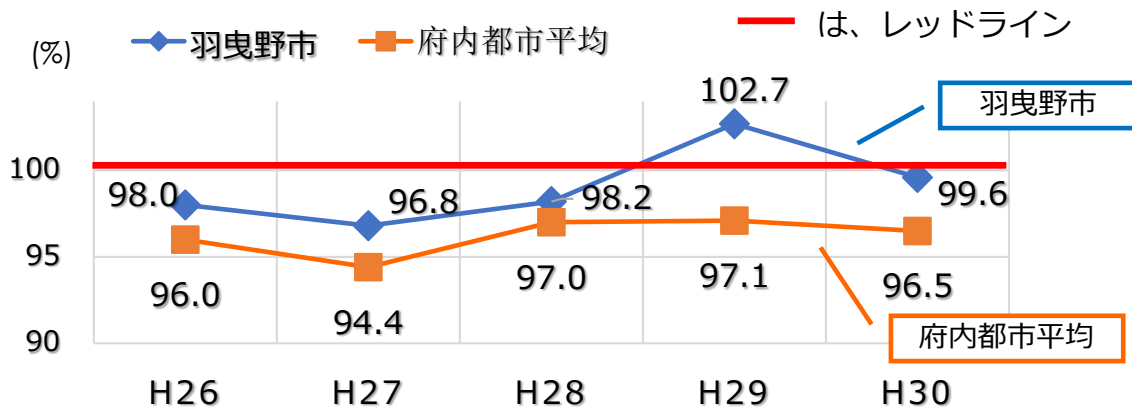


Q9. 羽曳野市の財政状況は大丈夫なの？



市役所の財政状況は「経常収支比率」、「実質公債費比率」、「将来負担比率」などの財政指標で診断することができます。

経常収支比率の推移

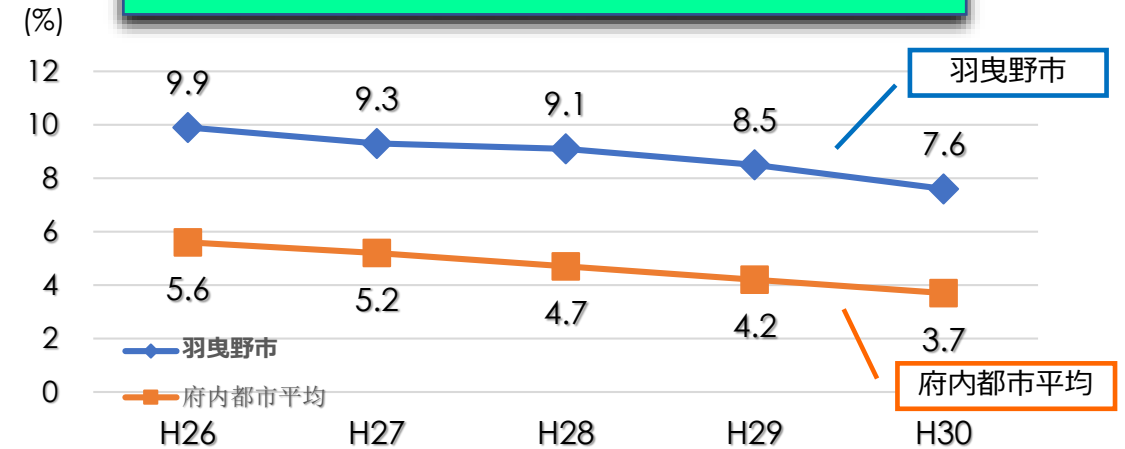


平成30年度の経常収支比率は、99.6%（前年度比▲3.1%）となりました。これは、市税や地方交付税等の収入が増加し、公債費や下水道事業会計への補助金等の支出が減少したことによります。しかし、前年度より改善したとは言え、依然非常に高い割合であるため、今後も引き続き経費削減に努める必要があります。

経常収支比率とは （※低い方が良い）

地方公共団体の財政の弾力性（自由度）を判断するための指標です。市税や地方交付税など毎年経常的に入ってくる使い道が決まっていない自由に使えるお金が、人件費、扶助費、公債費など毎年経常にかかる経費にどれだけ充てられるかを示します。この比率が100%を超えると、経常的な収入では経常的な支出をまかなえていないことを表します。

実質公債費比率の推移

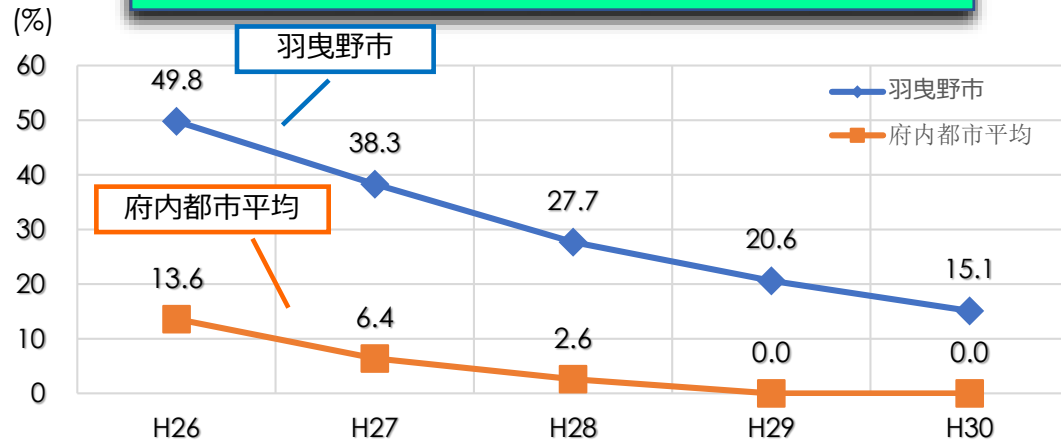


平成30年度の実質公債費比率は、7.6%（前年度比▲0.9%）となりました。これは、「はびきのコロセアム」や「LICはびきの」などの大型公共施設に係る借金の返済が減少していることや、この間の財政健全化計画に基づき、新たな借金の借入を抑制していることなどによります。とはいえ、まだまだ府内都市平均よりも高い水準となっているため、今後は自主財源の確保に努め、臨時財政対策債といった赤字地方債に過度に依存しない財政体質を目指していく必要があります。

実質公債費比率とは （※低い方が良い）

地方公共団体の借金返済額の負担の大きさをはかる指標です。年間の収入の規模に占める年間の借金返済額の割合を表します。この比率が18%を超えると新たに借金をするのに大阪府の許可となります。

将来負担比率の推移



平成30年度の将来負担比率は、15.1%（前年度比▲5.5%）となりました。

これは、「はびきのコロセアム」や「LICはびきの」などの大型公共施設に係る借金残高が減少していることや、この間の財政健全化計画に基づき、新たな借金の借入を抑制していることなどによります。一方、下水道事業会計への補助見込額などについては高い水準であることから、下水道事業との調整も含め、将来に過度の負担を残さないように、身の丈に合った財政運営に努める必要があります。

将来負担比率とは （※低い方が良い）

地方公共団体が将来支払うべきお金の大きさを表はかる指標です。

年間の収入の規模に対する一般会計の借金残高や下水道事業等への借金返済のための補助金の将来見込み額など、市役所が将来に支払わなければならないお金の割合を表します。この比率が350%を超えると国や大阪府の管理の下、「財政健全化計画」を作成し、市民サービスを抑えるなどをして財政の健全化を図ることになります。

羽曳野市の財政状況について

- ・平成18年度以来13年連続黒字を確保しているが、ここ2年間は財政調整基金（貯金）からの取り崩しを行い黒字を維持したものであるため、楽観できる状況ではない。
- ・経常収支比率は前年度よりも改善したものの、依然として非常に高い水準となっている。また、公債費（借金返済）は減少しているが、扶助費は高止まり、人件費は職員数の増などにより増加しており、今後も財政の硬直化は避けられない見通しである。
- ・借金返済・借金残高については、建設工事などの抑制を図ってきたため改善しているが、これから道路等のインフラの更新が本格化することから、今後は増加に転じることも考えられる。人口減少も加速していることから、インフラ、公共施設等の集約化・長寿命化を計画的に行う必要がある。



借金の返済については、これまで財政健全化を頑張った成果が現れているね。



このほかにも、羽曳野市の資産や負債といったストックに関する情報などについては、「地方公会計制度に基づく財務書類」で分析しているよ。

[【地方公会計制度に基づく財務書類については、こちらのページをご覧ください。】](#)

次のページでは、羽曳野市のこれからの財政収支の見通しを見てみよう。

羽曳野市の今後の財政収支見通し

羽曳野市／普通会計 中期財政収支見通し

(単位：百万円)

区 分		R1	R2	R3	R4	R5
収 入	市 税	12,575	12,525	12,336	12,343	12,351
	地 方 交 付 税	8,555	8,562	8,644	8,735	8,822
	そ の 他	18,556	19,318	18,407	18,048	17,912
収 入 合 計 (A)		39,686	40,405	39,387	39,126	39,085
支 出	人 件 費	5,345	5,202	5,178	5,383	5,374
	扶 助 費	13,783	14,059	14,340	14,555	14,773
	公 債 費	3,488	3,421	3,324	3,543	3,506
	そ の 他	16,962	17,916	16,739	16,352	16,685
支 出 合 計 (B)		39,578	40,598	39,581	39,833	40,338
収 支 (A) - (B)		108	▲ 193	▲ 194	▲ 707	▲ 1,253

※この収支見通しは財政調整基金（貯金）の取り崩しを見込んでいません。



財政調整基金を取り崩さないと、赤字はどんどん膨らんでいく見通しだね。

原因は、

- ①人口が減ることによって市税が減る
- ②高齢化などによって扶助費は増加する
- ③老朽化した道路や橋、公共施設の更新等にもお金がかかる などが考えられるよ。

うわ～！大変だ～！

今はまだ貯金があるけれど、このままいって貯金が無くなったときはどうなっちゃうんだろう。こうならないようにはどうすればいいのかな？



Q10. これからの羽曳野市に必要なことはナニ？



これからも引き続き「行財政改革」の取組みが必要です！

羽曳野市では、行財政改革に取り組むための指針として「羽曳野市行財政改革大綱」を策定しています。前のページのような財政状況にならないように、これからも引き続き、財政の健全化に取り組んでいきます。

《優先して取り組むべき課題》

1. 脆弱な財政基盤と社会保障費等の増加
2. 公共施設における将来コストの増大
3. 市民ニーズの多様化・高度化



《改革の基本項目》

1. 持続可能な行財政運営の確立
⇒ 自主財源の確保、事務事業の見直し、職員数の適正管理など
2. 人材の育成と組織の変革
⇒ 人事評価制度、職員研修の充実、組織力の強化など
3. 公共施設マネジメントの推進
⇒ 公共施設の最適化、財政負担の平準化と維持管理費の縮減
4. 市民協働によるまちづくりの推進
⇒ 市民参画の推進、情報の積極的な公開と情報共有の推進など
5. 外郭団体等の改革
⇒ 外郭団体、一部事務組合の改革

※「行財政改革」について詳しくは、次のページを参照してください。
<https://www.city.habikino.lg.jp/soshiki/soumu/suishi/kaikaku/1965.html>



Q11. 僕たち、私たちにできることは？



これからも、羽曳野市の財政状況と今後の課題に興味をもってください。

羽曳野市の財政状況のまとめ

- (1) 自主財源の割合が低く、総収入も低め
- (2) 扶助費や公債費などの義務的経費の割合が高く、経常収支比率も高めで自由に使えるお金が少ない。
- (3) 貯金は増えてきたが府内平均よりも少なめ、借金は減ってきたが府内平均よりも多め
- (4) 主な財政指標が府内都市平均よりも悪め

羽曳野市の今後の課題

- (1) 人口減少が進む
 《H20：11.9万人 ⇒ H30：11.3万人 ⇒ R7予想*：10.1万人》
※日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）
 【国立社会保障・人口問題研究所】
- (2) 扶助費の額が増加していく
 《H20:82.9億円 ⇒ H30:135.1億円（+62.9%）⇒今後も増加》
- (3) 公共施設や道路・橋等のインフラが老朽化
 《H30有形固定資産減価償却率：56.3%》

※今ある事業を廃止（スクラップ）してから、そのお金で新しい事業を行う（ビルド）こと。

今後、財政状況はますます厳しさを増すと考えます。限られた財源をこれまで以上に有効活用するため、事業の「選択と集中」、そして「スクラップ・アンド・ビルド*」を進めていきます。



例えば、次のようなことでも、羽曳野市の財政の健全化に大きくつながります。皆さんのご協力、よろしくお願いします。



そうだ。温泉に行こう。

入湯税は、温泉施設の利用者に対して課せられる税金で、環境衛生・消防施設の整備又は観光振興の費用等に充てられます。羽曳野市内には、温泉施設が2軒あります。たまには近くの天然温泉に入って心身ともにリフレッシュをしませんか？

柏羽藤G-0グランプリ!?

皆さんが出すごみの処理は、お隣の柏原市さん、藤井寺市さんと一緒に「柏羽藤環境事業組合」という組織を設置して行っており、それぞれの市のごみの量などに応じて同組合に負担金を支払っています。ごみの量が減量されれば、それに応じて負担金も減額される仕組みです。羽曳野市は3市の中で一人当たり家庭ごみ排出量が最も多い状況です（一番少ないのは柏原市さん）。さあ、皆さんでリサイクルを推進し、柏羽藤G-0（ゴミゼロ）グランプリに優勝しましょう！

たばこ税、どうせだったら羽曳野に。

市たばこ税は、国産タバコの製造者や輸入タバコの販売業者などが羽曳野市内のタバコ屋さんに売り渡したタバコに対して課せられる税金です。市たばこ税は、タバコを販売するタバコ屋さんが所在する市の税収になります。ですので、タバコを購入される際は、ぜひ羽曳野市内のタバコ屋さん（コンビニを含む。）をご利用下さい。

Let's 水洗化!

公共下水道への接続ができるようになった区域に建物をお持ちの方は、公共下水道への接続義務があります。公衆衛生や水質保全、市民間の公平性を担保するため、浄化槽をお使いの場合でも公共下水道に接続をして水洗化をしていただく必要がありますので、ご注意ください。なお、羽曳野市の水洗化率（下水接続人口÷下水処理区域内人口）は86.9%（府内市町村平均97.3%）です。水洗化をしてキレイで住みよいまちをつくりましょう！



最後まで読んでいただきありがとうございました。
つぶたんと一緒に見てきましたが、少しでも羽曳野市の財政状況を考えていただけると幸いです。
また、財政に関することで、お気づきの点や何か良いアイデアがあれば教えてください。
これからも、羽曳野市の行財政運営にご理解とご協力をお願いします。

■ なお、平成30年度決算のより詳細な情報は[こちら](#)のページをご覧ください。



世界遺産と日本遺産のあるまち
HABIKINO CITY



羽曳野市の財政状況 〈平成30年度決算〉

羽曳野市総務部財政課
Tel : 072-947-3807
Mail : zaisei@city.habikino.lg.jp